

○議長 横尾 武志君

6 番、田島議員の一般質問を許します。田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

はい、お疲れのところ恐縮です。6 番、田島憲道です。一般質問通告どおり、やらせていただきます。

まずは、国民宿舎マリンテラスあしやについて、第 1 回目の質問です。今年は、流行語大賞に「お・も・て・な・し」が選ばれました。芦屋町でのおもてなしというと皆さんは何を連想しますか。僕は、やはり国宝の芦屋釜でお茶を所望させておもてなすことができれば、いいなと思っております。それはかなわぬところですが、本石課長、どうですかね。

では、芦屋町にせっかく来てくれるなら、ぜひ、生きイカを食べさせてあげたいと思います。そして、ゆっくりとくつろぎ、旅の疲れをとっていただきたいと思うわけですが、泊まれる施設といえば、この国民宿舎マリンテラスあしやということです。開業 14 年を迎え、大分、外から見ても年季が入っているなと思っておるところです。そしてこの年明けの 1 月 15 日から 2 月 28 日の間、休館日を設けて内部の改修工事に着手するということですが、その工事概要はどのようなものなのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。それでは、マリンテラスあしや内部改修工事の概要についてお答えいたします。

工事予算につきましては、7,200 万 5,000 円です。

主な工事内容につきましては、1 階部分は、ティーラウンジ床タイル、カーペットの張りかえ、1 階から 2 階への上り階段、床のタイル等の張りかえ、エントランス、ラウンジ、遮光カーテンの取りかえ、職員食堂及び休憩室のエアコン更新、天井張りかえ、給湯用ボイラー洗浄及び調整。2 階部分は、レストラン内のカーテンの取りかえ、宴会場の畳表がえ、エレベーターホール周辺、宴会場廊下の床張りかえ、厨房天井張りかえ、厨房エアコン更新、厨房洗浄室排気ファン更新、サービス廊下の床張りかえ。3 階部分は、会議室カーテン取りかえ、エレベーターホール天井改修、喫煙室及び倉庫の新設、3 階から 5 階の客室については、内装関係の改修となります。和室は、畳表がえ、壁クロス張りかえ、障子、ふすま紙の張りかえ、天井、照明の改修、カーテンの交換。洋室では、壁クロス張りかえ、カーテン取りかえ、バルコニーの亀裂部分改修。地下 1 階部分は、排気設備改修、カラオケルーム天井改修などがございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

今、伺ってみて、今回の改修は内装重視かなと思っております。それも表面的な部分改修のような感じがします。

私、2年前に2カ月ほどある理由でマリンテラスに長期滞在、宿泊しました。当時、お粗末な煎餅布団でして、それにあきれて、布団3枚重ねて寝たのを思い出します。それで、お客さんのアンケートでも必ず布団の苦情が出てくると聞いてます。こういった布団なんかどうなんでしょう。

それと、今回の改修が実際にお客さんへの直接的なサービス向上につながるのか、また、売り上げ向上に関係する改修なのか、ちょっと疑問に思います。

また、冬の時期になると、風呂場がとても寒いんです。原因は換気扇かどうかわかりませんが。それと、各洗い場のシャワーやカランがですね、お湯がぬるく感じます。特にドライサウナのほうなんです、これ、よく苦情があります。

今回の改修で改善されるのかお尋ねします。そして、布団についてもお願いいたします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。まず、1点目の布団につきましてです。

布団につきましては、備品と考えておりますので、備品につきましては、指定管理者であります、現在、指定管理を任しております、マーチャント・バンカーズのほうで購入していただくべきものと思っております。

田島議員さんが言われましたとおり、アンケートの中にも、一部、やっぱり寒いという形がありますので、早急に対応していただくような形で、こちら側としてもお願いはしたいというふうに思っております。

2点目、シャワーの件につきましてですが、シャワーについては、温度を調整する弁とかが一部破損しているところがあったという形で聞いておりますので、そこにつきましては、修理を行っているという形で聞いております。全体的にそのボイラー等に関しまして、給水管関係や衛生設備等につきましては、建築後、まだ改修等を行っておりませんので、今回の改修工事には含まれておりませんが、今後、状況を見ながら、改修等が必要なところについては、今後、検討していきたいとは考えております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

普通、大体、お風呂というのは、冬になると夏よりお客がふえるはずですが。逆にここはですね、ちょっとお客がたっと減るんですよ。湯舟につかっても、熱風呂じゃないからですね、洗い場が上がると、すき間風も入ってまして、すき間風が入ってくるんで寒いんですよ。お客さんから、本当、よく苦情を聞きます。僕は大体、週 3 回ぐらいはサウナに行ってるんで、もう、そういうことばかり聞いているんですが、このことですね、私は、担当係に何度か話したことがあるんですが、憤慨だと思うんですけど、なかなか対処してくれないなと思ってます。マリンテラスは、温泉じゃないからですね、とてもよそより、まあ、観光地に比べたら、とても不利な環境です。お客さんはですね、やっぱり、食事の次には大浴場のお風呂を楽しみにしてるんです。ちょっと、節電とか節水とかに気を使い過ぎてるような気がしてるんですね。

それと、部屋についても、ちょっと問題があります。部屋数は 30 ですね。オープン当初は、いろんなこと、例えば、オープン当初から、14 年前ですよ、いろいろ変わってきております。

例えば、経済状況や社会状況などいろんなことが変わりました。14 年前は、家族連れや、また、おじいちゃん、おばあちゃんたちの小旅行とか、それと、休暇村の営業努力で、小学校の修学旅行という大口の団体客をひいきにこれまでやってきてます。で、当時は、砂浜の美術展もやってまして、これを目当ての滞在客もありました。今は、いろいろ状況が変わってきています。

そして、近郊では低料金で泊まれるビジネスホテルが、この圏内にいろいろ出てきました。トヨタの九州工場や新日鉄関連で需要があると聞いてます。観光客も低料金で新しくきれいですから利用するんですね。素泊まりで、朝食バイキングつきで、3,800 円と聞いてます。そういった状況が周りで起きてきてます。

例えばですね、マリンテラスは出張で幹部自衛官が来ます。それと、フライトシミュレーションというのがあるそうで、そのメンテで大手の技術者も利用してます。しかし、マリンテラスは現在のところ、シングルが、たった 1 つなんですよ。だから、とても使い勝手が悪いんです。それで、1 年を通して、満室になる日は限られてまして、航空祭の前後とか、修学旅行の予約が入ったときと、あとは年末年始ぐらいだそうです。

平日にですね、どれだけビジネス客をターゲットにするかというのも今後は選択肢にあると思います。一人客でもですね、ツインやダブル、和室があいているなら、今のシングル料金と同じ価格で、たしか 5,775 円だと思いますが、その値段で泊まらせれば良いと思うんですよ。今はですね、こう、部屋によって、1 人 6,800 円とか、7,800 円しますが、これちょっと、出張組には高いと思います。

そしてまた、砂浜の美術展ですか、これは、今のところ、復活の兆しはありませんが。大型イ

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

ベントの見込み客というのは、航空祭や花火ぐらいでしかないですよ、今は。芦屋はどう頑張っても観光地じゃないから、芦屋町だけを目指して来るっていうことはなかなか厳しいと思います。

それで、お聞きします。国民宿舎という定義は、何なんでしょう。そして、この（２）の、国民宿舎協会及びその九州地方連絡協議会に加盟していますが、そのメリットがあるのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

要旨（２）についてお答えいたします。

まず、国民宿舎の定義。国民宿舎とは、自然公園や国民休養温泉等の自然環境にすぐれた休養地に建てられた宿泊施設、休養施設です。日本の健全なレクリエーションと健康の増進を図り、国民の誰もが低廉で、しかも、快適に利用できることを目的として、昭和 31 年に制度化されたものです。

その国民宿舎の中で、現在、国民宿舎協会と、九州地方連絡協議会のほうに加盟しております。

それについてのメリットがあるのかという形の中で、この国民宿舎協会につきましては、これは、地方公共団体によって設置された公営国民宿舎の資質向上と宿舎の合理化を研究するためにつくられたもので、会員数としては、99 の会員が加盟されております。これの負担金としては、2 つ合わせて 20 万 4,000 円の負担をしております。

メリットとしましては、この公営国民宿舎のホームページに月 2 回、空き室等の情報の更新や、随時、宿泊プランの掲載を行っております。

2 点目としまして、国民宿舎ガイドを、各宿舎、店頭や宿舎協会の事務所で販売、もしくは、通信販売を行っております。

3 点目、レジャー、旅行関係の雑誌を中心に公営国民宿舎の記事が無料で掲載されるということです。

4 点目、宿舎協会が、各福利厚生代行企業や健康保険組合との間で、宿泊利用契約を締結し、会員宿舎の宿泊利用増進のための活動を行っております。

5 番目に、資質の向上として、職員用の研修を開催しております。

6 番目、職員の勤務、永年勤続の表彰等を行っております。

7 番目に、年間利用者数などを集計して、会員に情報の提供を行っているなどがございまして、各協会との連携を深めながら、情報収集しているものと思っておりますので、メリットはあるんじゃないかというふうに思っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

はい。ガイドブックに載っていることが、これが果たしてメリットになるのかどうかと思います。

今は、インターネットで調べて、直接、予約しますし、スマホもあります。旅先から、車の中から、どこからでもサイトチェックで調べることができます。また、フェイスブックなどの SNS を使ってるところもありますし。

マリンテラス、最近、若い支配人にかわりました。ここ 2 年半で、4 人目。4 人もかわってますが、ホームページ見ると、最近、やっとリニューアルして、あー、なんか動き出してるなあという気がします。まあ、フェイスブックはまだのようですけど。

実は、この国民宿舎という位置づけが、いろんなことを束縛しているんじゃないかと思います。国民宿舎だから、公共の宿だから、そこまでなくてもいいというような空気が蔓延しているような感じがします。実際、前の休暇村さんのときに、社員からそういったことも聞いたことがあります。じゃあ、今の M 社ですね。その、そういった負の意識があるんじゃないかと、僕は思います。もともと、この指定管理というのは、民間会社の持ち味、特色を生かした、そういった経営に刷新するために託してるわけです。すぐやってくれるスピード感や、改善、悪ければすぐ改善する、民間ならではのフットワークを、それを期待してるんだと思いますが、どうなんでしょう。また、店内には、この時期、イルミネーションどころか、クリスマスツリーとかも飾ってないんですよ。いつも季節感を感じません。不思議な宿です。

では、質問です。経営状況は、大丈夫でしょうか。指定管理者がかわってからの、この 2 年間の売り上げ推移と宿泊者の利用状況をお伺いします。休暇村が経営したころより、売り上げがどうなのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。22 年より、指定管理者が変更となりまして、現在のマーチャント・バンカーズになっております。前年度の休暇村との比較という形で言われておりますので、23 年、24 年の売り上げ状況と比較をさせていただきたいと思います。

22 年の売り上げにつきましては、3 億 2,400 万円。利用の宿泊者数は、1 万 9,131 人です。

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

24年度の売り上げにつきましては、3億1,600万円。利用宿泊人数につきましては、2万513人です。

23年度と24年度を比較しますと、売上高につきましては、約740万円の減で、宿泊の利用者人数は、1,382人の増となります。

22年度の前年の指定管理者と、23年度の現指定管理者とでの比較をしますと、売上高につきましては、マイナスの4,700万円、利用者人数につきましては、2,277人の減でございます。売り上げについては、22年度から年々減少傾向という形には、なっております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6番 田島 憲道君

1年目は、大震災があったことを考慮しなきゃいけないと思います。しかし、今、どうなんでしょう。積極的に営業努力というものをやってるんでしょうか。

この時期、前の休暇村はですね、クリスマス企画のディナーショーとかやってました。出入りの納品業者さんなんかは、政治家さんのパーティーのように無理やり押しつけられて買わされてましたが。いろいろ休暇村さんはやってました。

また、隣のかんぼの宿では、旅芸人の一座があるんですよね。全国を回ってます。それと一緒に旅してる追っかけのおばちゃんたちがいまして、かんぼでは、そういう芝居を、定期的に宿泊や日帰りのツアーなどと一緒に企画をやっています。こういうの好きな人はいるんですよね。町の文化祭でもそういう舞踊が、毎年、披露されています。

それと、マリントラスには、門限があります。これ、泊まり客には不評なんです。修学旅行のときだけならわかりますが、自衛官などの出張者は、素泊まりが多いし、我々も出張に行くと、繁華街が近くにあると、ちょっと出てみようかとかいう気になりますね。施錠が23時なんです。門限は12時までで、これ、何とかならないでしょうか。いつも当直の社員が1人と、警備員が1人います。直接、クレームしたことあるんですけど、どうやらこの2人は12時から寝る時間なんです。夜警の警備員も寝るのかと、不思議に思うんですが。チェックインに関してですね、最近、ビジネスホテルは10時とか、深夜でもチェックインさせてるところあるんですね。

やろうと思えば、いろんなことができるんですね。公共の宿だからできないというの、ちょっと、民間会社が管理している意味がないと思います。国民宿舎という概念がとても邪魔になっているんじゃないかなと思っております。

それと、町内の釣具屋さんがマリントラスと一緒にですね、イカ釣りの夜釣りツアーとか企画したいとか、ちょっと相談受けたんですけど、しかし、こういう門限とか、その、いろん

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

な体制では何もできないんですよ。

続いて、質問に行きます。修学旅行の数が減っているようですが、指定管理者M社は、販路拡大するための営業活動というのをやっておるのでしょうか。月 1 回の経営会議で聞いておりますか。やっているなら、その取り組みをお尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。月 1 回の経営会議の中で、そういう報告をいろいろ受けております。

その中で、営業活動につきましては、中国地方を中心に行っているという形で聞いております。芦屋町のほうに修学旅行に来られる主力というか、中心的なところは、広島県と山口県という形で聞いております。

また、今、営業状況としましては、今後、今、広島、山口等がなかなか人が来れないというところもありまして、過去利用された、鹿児島県、島根県、愛媛県などのところの旅行会社に、訪問及びパンフレットを送付して、営業活動を行っているというふうに聞いております。

また、新規開拓として、長崎、宮崎、熊本などを、今後、1月から2月にかけて休館がありますので、その間に営業活動をしたいというふうに考えていると聞いております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

とにかく、必死に訪問営業をやっているのかと、ちょっと疑っちゃうんですが。

それと、町内の景気はどん底です。僕ら、飲食店とですね、コラボとか、一緒に提携できないかと思っておるんですよ。例えば、泊まり客に、食後に、はしご酒ツアーを企画する。マイクロバスがありますから、送迎すればいいと思います。

また、休暇村のときは、蛍を見に、戸切に出かけてました。そういったことを前はやってました。商工会には、ちょっと問題もあると思いますが、お互いが話す機会をつくらないといけないと思います。

それと、釜の里とも、全く連携がとれてないような気がします。フロントに行ってもですね、パンフレットすら置いてないんですよ。これは僕の店ではちゃんと置いてありまして、聞かれば、ちゃんと紹介するようにしています。

続いて、（3）アクアシアンプールのことでお聞きします。

この夏、ここだけはとにかくすごい盛況ぶりでした。週末の来客数は、1日で3,000名超

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

えた日があったといひます。そこに建屋があり、飲食物を販売してありますが、その飲食ブースの権利は指定管理の契約内容にあるのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。この権利はあるのか、契約内容にあるのか、という形であります。それについてお答えいたします。

平成 23 年から 27 年までの国民宿舎マリテラス、指定管理者の公募の際、提示書類に平成 18 年から 21 年までの営業実績に、このレジヤープール、カフェテラスの営業収益も含まれております。

各申込者は、それを勘案し、納入金額を設定しているため、レジヤープール、カフェテラスの営業は、現在の指定管理者に引き続き行ってもらっているというふうな状況になります。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

はい。これはたしか、2 年前にもちょっと聞いたことがあるんですけど、そのときは、通告しなかつたから簡単な回答だったんですよ。契約書に書いてなかつたら、その、ちゃんとうたつたらいいと思うんですよ。ここを含めた指定管理という位置づけに、契約に書けば、そうすれば問題はなくなってくると思います。

そこで、ここの家賃とか貸付料、どのようになっているのか。観光協会とマリテラスの指定管理者との契約はどのようになっているのか、お尋ねします。

また、ここ 2 年間の売り上げの状況もわかれば、お願いいたします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

契約につきましては、双方の指定管理者、レジヤープール指定管理者の観光協会と、マリテラスあしやの指定管理者マーチャント・バンカーズの間で契約を交わしているという形になります。

ここの貸付料につきましては、営業期間中の総売り上げに応じての支払いという形で聞いております。売り上げの状況としましては、この 2 年間、両方とも約 700 万円程度の売り上げがあったというふうな形で聞いております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

わずか1カ月ちょっとの営業で、びっくりするような、700万円ちょっとですか。売り上げだと思えます。

しかし、この飲食ブース、ここの飲食ブースがとても評判が悪いんですよ。スタッフの対応から、出してる食べ物含めてです。炎天下の建屋の中で、よそで作りおきしたものを保温器の中に入れてる。これは、焼きそばなのか、焼きうどんなのか、ふやけて何かわからないんですよ。とても食べられるものではないんです。でも、食べ物はここしかないからですね。海の家もあります、この建屋で焼きそばが400円。海の家は600円です。海の家は統一価格に指定されてます。ほかにも、この建屋でタコ焼きが350円、うどん350円、ポテト200円と。このブースだけは、なぜか安く設定してあります。「子ども価格、手ごろな価格にしてくれ」と、これ、観光協会の指示だそうです。しかし、味は、子どもには、子どもだましかもしれませんが、一緒に来てる親にとっては、ちょっと憤慨ものなんです。だから、苦情が、もう、僕のところにきて、あれは町がやってるのかと言うんですね。

それと、今年、なぜかラーメン屋が入ってまして、また、これ、町内のラーメン屋じゃないんですよ。町外、よそのラーメン屋さんで、これも僕のところに苦情が来てます。なぜ、観光協会の会員の中に、飲食店が何店舗も加盟してるのに、なぜ、声がかからないのか。私も観光協会の会員なんです、年会費1万2,000円払って、何の特典もありません。駐車場の割引券もない。会報すら配られないし、僕は10年間、観光協会の会員なんですけど、今年初めて盆近くになって、プールの割引券が送られてきて、こんなこと初めてでしたけど。この建屋だけが飲食物を提供してて、これ1社独占でしょう。それで問題が多いということだったら。今年はちょっと、シーズン終了間際に、ちょっと、何かあったみたいなんですけど。まあ、詳しくは言いませんが。

それならば、併設の芝生広場があります。週末だけでも、祭りあしやのようにテント村を出せるようにしたらいいと思います。会員限定にすれば、加入促進にもなると思うんですよ。こんなこと観光協会に何度も話したこと、直接言ったこともあるんですが、まあ、花火で忙しい、草刈りで忙しい、プールで忙しい、相手にしないのが今の観光協会なんです。観光協会も、よその一般的にある観光協会とちょっと違いますよね。とても複雑に、なんかなってまして、芦屋観光株式会社と、そう、改めるべきではないかなとか思ったりしてはいますが、本来のやるべきことを忘れてるのではないかと考えております。

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

続いて、（４）に行きます。

商品偽装表示問題による影響は受けてないか。これは最近、一流の有名ホテルでお肉やイセエビ、オレンジジュースなどで偽装表示していると報道がありました。各地のホテルで謝罪会見が相次ぎましたが、マリンテラスでは、それによる影響はないのかお尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

偽装という形の中で、影響受けてないのかということについてお答えいたします。

マリンテラスの支配人のほうに、そういうことはないのかという確認したところ、食品偽装等の表示問題はないということで聞いております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

偽装表示はなかったということですが、イセエビ会席を 1 1 月 1 日から始めておりますが、この会席が 1 5 日にはもう取りやめになってます。

ホームページのブログがあつて、それを見れば、現在、食品偽装問題でイセエビの入荷がマリンテラスあしやではない状態です。そのため、イセエビ会席でなく、カワハギ会席で、代替でお出しします、と。これ、書き方が悪いですよ。これじゃ、何か問題があつたような感じがします。また、フロントには、イセエビ会席のパンフレットがまだ置いてありました。それ見ると、会席のお品書きに和風ステーキでありまして、ここに慌てて、こう、修正のシールが張ってあるんですよ。これ、牛脂注入ロースって書いてあるんですね。これ、ちょっと気持ち悪いですね、これ。こんな、のりで張りつけたような肉をですね、これ、露天商が使うものだけと思つてまして、こんな肉は使わないほうがいいと思います。

ほかにも、ちょっといろいろあるんですよ。響灘会席。これ、ロブスターのクリームソース添えと、これもイセエビの上から張りつけてありまして。このイセエビ会席をやめて、カワハギ会席にかわりました。値段は据え置きで、1 泊 2 食つき、1 万 2, 6 0 0 円から。この時期、ほかにも、フグ会席とカニづくし会席があります。値段は、1 万 2, 6 0 0 円です。しかし、これ、全然、芦屋らしくないんですよ。これは、海のない佐野市でも食べることができます。

先日、刀根さんと今井さんと、佐野市に行政視察に行ってきました。交流事業で芦屋に来たことがあるという職員さんたちが、皆さん、「あの、「あしやんいか」が、もう、忘れられない」と言っていました。やはり、芦屋町で、一番喜ばれるおもてなしは、生きたイカを食べさせること

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

じゃないかと思います。このイカは、とてもデリケートで、管理が難しいと言われています。しかし、通年とれるものです。

マリンテラスの目玉の生きイカ会席は、4月15日から10月31日までの限定となっています。予約は2名から。料金は、1泊2食つきで、1万2,600円からとなっています。ちなみに、呼子の国民宿舎を調べてみました。生きイカ会席プラン、1泊2食つき、8,610円。こちら、値段も大分安いし、期間は、1年中食べられます。しかも、1人からでもいいんです。よその宣伝しても仕方ないんですが。

この生きイカを、通年食べれるようにできないでしょうか。そのために、行政も知恵を出していかなきゃいけないと思います。

続いて、その「あしやんいか」についてお聞きします。

(1)、芦屋町の地域ブランドとして、平成13年から「あしやんいか」というネーミングで、町民に親しまれているヤリイカについて、水揚げ高の推移と流通の現状はどのようになっているのか、お伺いします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。ヤリイカの水揚げ推移と流通の現状という形でお答えさせていただきます。5年間の水揚げをお答えしたいと思います。

20年度は、数量としては、6万4,900キロ、金額にして、約9,300万円。

21年度は、数量として、5万8,000キロ、金額にして、7,900万円。

22年度は、6万9,200キロ、金額にして、8,600万円。

23年度は、5万6,700キロ、金額にして、約8,000万円。

24年度は、数量にしまして、4万6,100キロ、金額にしまして、5,500万円です。

流通先につきましては、福岡魚市場、北九州魚市場、遠賀魚市場、あと地元の柏原の活魚センターと活魚の販売卸業者、小売り等という形で流通が行われているということです。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6番 田島 憲道君

はい。とにかく、近場でイカがとれなくなっているんですね。また、燃料の高騰で、遠くまで行きよったら、採算が合わないということで、赤字になるから、漁師は沖に出ないということ、聞いております。これから消費税も上がります。道具代やトロ箱などの出費がふえてきます。い

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

ろんな条件が重なっていき、ますます、芦屋での入手が困難になるのではないかと思います。そして、今でもマリンテラスや町内の飲食店は、このイカを確保するのに、大変、悲鳴を上げています。その実情を、わかっていただきたいと思います。

続いて、これまで「あしやんいか」をどのようにPRしてきたか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

はい。これまでのPRはどのようなことかという形についてお答えいたします。

まず、基本的なPRとしましては、うちでつくっております、芦屋ツアーガイドブックなどを活用してのPRや、町、観光協会、マリンテラスあしやや玄海エリア観光ガイドなどのホームページを活用してのPRという形で情報発信を行っております。

また、今年4月に作成しました芦屋町観光基本構想の中で、基本的戦略2の芦屋の素材を生かした食の魅力づくりとして、「あしやんいか」の認知向上、ブランド化を推進していくこととして、「あしやんいか」を活用したイベントの実施を、今後、検討していきたいというふうには考えております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6番 田島 憲道君

これは、佐賀関の関あじ、関さばのようにはうまくいかなかったというところでしょう。この反省点は何なのでしょう。

先日、佐野市に行ったときに、「さのまるくん」というゆるキャラのことを聞いたんです。つい最近、見事、今年のゆるキャラグランプリに選ばれて、日本一のゆるキャラになったんですが、これ、若手職員が6人ぐらいで回してます。彼ら、言うんですよ。「ゆるキャラは生み出したら、責任を持って育てていかなければならない」と、そう言っていました。また、「ペットを飼育するのと同じで、結構大変です」と。

これ、「あしやんいか」も同じことだと思います。町はこれを育てていかなかったんじゃないかと。漁協もそうです。全て、飲食店任せだったのではないかなと思うんです。

私は、ここで、町長にちょっと提案したいと思います。

イカはとても神経質で、生けすで何日も生きられません。そこで、これを10日生きるような研究や、漁師がよその生けすに個人個人で出してます、このイカを、柏原のあの巨大な生けすを利用して、全て引き取るような仕組みを研究する。また、長生きさせるための飼育の研究や、不

可能と言われるこの養殖についてですね、これを研究する。そして、町内で安定的に供給させるために、飲食店にも協力してもらって、出資などで共同で生けすを運営すると。そして、また、死んでしまった、残ったイカをですね、加工品にするとか、商品開発など、こういったことを行政も知恵を出して取り組んでほしいと思います。いかがでしょうか。

町長のお考えを、ちょっと、いきなりですがお聞きします。

○議長 横尾 武志君

町長。

○町長 波多野茂丸君

はい。るる、マリンテラスを中心として「あしやんいか」、いろいろご意見、ご提案をいただいたわけですが、これ、私の知ってる限り、まずですね、私も何度も経験あるんですが、海の駅、あれは、議員もご存じのように、漁業組合、100%出資の経営ですよ。国、県の補助金をいただいてやってるわけですが。

あそこに行けば、私どもも、イカは必ず買えるものと思って、行くわけですが、生けすを見ますとイカが泳いでないというようなことがたびたびあったわけですが、そして、組合に行って聞きますと、やはり個人の漁師さんがですね、海の駅に持ってこない、どうしようもないということで。まあ、田島議員もお聞きになられと思うんですが、やはり、値段のいいところに、やっぱり、売りますよね。これは私の情報っていうか、聞いた範囲の話なんですが、やっぱり、呼子が結局、値段が安定してるということで、呼子のほうと契約を結んでいるということをお聞きしたわけですが。

マリンテラスもですね、私は何度か聞いたことあるんですよ。「何でイカ出さないんですか」って。「手に入らないんですよ」ということを聞いたことがあります。その前に、その話聞いてましたんで。漁師さんたちも、今、言われたように、やっぱり、1円でも高いところに売りたいというのが、これはもう、個人企業でございますので、心情かなと思うわけですが。

今、ご提案のあったことが、行政としてできるかどうかということは検討に値するかなと思っております。どこまでできるかと、行政として。ま、税を投入することです。やはり、「あしやんいか」も随分前、鳴り物入りでですね、「あしやんいか」というネーミングができて、大いに花火は上がったけど、あとはもう尻すぼみという状態であることは事実であります。そのことに関しましては、やはり、私も気にしているところであります。何とか、まあ、これをメインにですね、お客さんが芦屋に来ていただければなど、強く思っておる次第であります。

ボート関係もよく東京からお客さんが見えるわけですが、やっぱり、ボート関係に限らず、佐野市の市長だとか、この前も日南の市長だとか、いろいろ、外部からお見えになった方

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

には、やはり、どうしても、まず、イカを食べていただこうということが真っ先にくるわけでございますので。現状をですね、つぶさに調査いたしまして、できることはやるということで、答弁させていただきます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

はい。貴重な意見、ありがとうございます。

次に（２）の、最後ですね。

来春のNHK大河ドラマに黒田官兵衛が決まり、県の漁連では、黒田節の名槍「日本号」にちなんで、県産出のヤリイカを「一本槍」という統一ブランドで売り出すことを決めました。これで、町内での入手がますます難しくなることへの危惧やすみ分けなどの対策が必要となってくると思いますが、どのように考えているのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

地域づくり課長。

○地域づくり課長 松尾 徳昭君

要旨（２）についてお答えいたします。

町内での入手につきましては、１月から始まります、この大河ドラマの影響により、県内への観光客等が増加した場合、漁協の水揚げ量の増減によって異なってくるとは思います。しかし、一応、各漁協で、バランスを考えて出荷をしていただければ、入手困難になるとは考えておらず、今後、状況を見守っていきたいというふうに思っております。

基本的に、波及効果としては、この大河ドラマが始まって、後半１０月以降が、経済効果として上がるのではないかという形の中で、福岡の、官兵衛に関しましての、協議会がつけられてるところの予想値ではなっております。

この県産ヤリイカは、県内各地で多くの漁協があり、呼子で消費されていることが多いことから、今回の大河ドラマによる経済効果や、県内での消費拡大を図るため、県内の統一ブランドという形の中で「一本槍」がつけられております。福岡県の漁業協同組合連合会が中心に、当初は福岡市のみの店舗で、地域ブランドの立ち上げという形の中で考えてあったようですが、地域ブランドを持ってない他地域につきまして、この参加要請があり、県内全域の参加を呼びかけて行っているということを知っております。

この加盟店への支援につきましては、ポスター、のぼりの提供、県漁連の公式ホームページの掲載、加盟店名を旅行会社等に情報提供を行っているということです。

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

現在、芦屋町では 7 店舗が加入しているという形で聞いております。

この既存のブランドとの関係につきましては、引き続き、両方を尊重し、そのまま使用できるという形で聞いております。

町外からのお客様へのアピールには、広域的な統一ブランドとしての使用をしていただいて、それが芦屋に来た場合は、「あしやんいか」という形の中で、その地域名のブランドという形の中で考えてもいいのではないかというふうに考えております。そこら辺の既存ブランドと「一本槍」に関しましては、今後、筑前玄海広域観光協会も、ここら辺をどのようにやっていくかということで協議を行いたいという形で言われておりますので、今後、地域ブランドを持つところと協議はして行きたいというふうには思っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 6 番 田島 憲道君

はい。僕も町内の加盟店に聞いてみました。各お店は、やはり、生きイカを確保するために、大変な苦勞をしてるわけですが、この「一本槍」というブランドが認知されれば、呼子まで行かなくても県内の飲食店で生きイカが食べられるということで、これはいい取り組みだと言っております。そして、これが広まれば、これなら鐘崎からでも仕入れられるという利点があると言ってます。

ただ、私は、これから先、「あしやんいか」が埋没していくんではないかと案じています。

当面は、「一本槍」と、この「あしやんいか」との二本立てで様子を見ていくということで。そして、とにかく、この生きイカを町内で安定的に供給するために、行政も細心の注意を払ってイカの研究に取り組んでいただきたいと思います。芦屋町を訪れる方に、最高のおもてなしで歓迎したいという思いは、皆さん一緒なので、ぜひよろしく願いいたします。

最後に、マリンテラスも「あしやんいか」も、大事な観光資源です。特にマリンテラスあしやは、町立病院や競艇場と同じく、近隣 3 町にはない事業でありますから、町や町民にとってかけがえのない財産です。先人が大変な苦勞をして築き上げたものです。大事にしていかなければならないと思います。

それと、これから、年末年始と向かいます。皆さん、個々で、忘年会、新年会があると思いますが、マリンテラスや町内の飲食店を大いに利用してください。そして、町内でのお買い物、お忘れないようにお願いします。

私の一般質問、終わります。

○議長 横尾 武志君

平成 25 年第 4 回定例会（一般質問）

以上で、田島議員の一般質問は終わりました。